

## 【荒廃農地を再生して市民農園に】 ～ 熊本県荒尾市 ～

### 1 市民農園名

市民農園「水野」(荒尾市水野地区)

### 2 地区の概要

水野地区は荒尾市の南部に位置し、市街地からは車で15分程度であり、中心部からのアクセスは良好である。

有明海沿岸部のため、気候は温暖であることから、水田や果樹(みかん、梨等)の作付けを主体としている。

近年では荒廃農地再生によるオリーブ栽培も始まっている。



市民農園「水野」

### 3 市民農園開設の経緯

荒尾市が土地を借り受けて平成14年に開設した市民農園があったが、土地所有者の都合により返還せざる得なくなったため、平成23年に解約、閉園となった。閉園後も利用者の需要が見込めたことから、周辺農地に影響を与えず、市民農園を利用する上で交通の便が良い土地であること等を条件に、新たな市民農園開設に向けて候補地探しが始まった。

検討の結果、以前みかんを作付けしていた農地が候補地となった。ただし、現況が荒廃農地となっていたため、国の事業である「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金」を活用して再生、市民農園として整備を行い、荒尾市として2箇所目となる市民農園「水野」が平成25年10月に開設された。

### 4 施設概要

- 所在地 荒尾市水野909番地
- 施設総面積 1,577㎡
- 区画面積 1区画当たり 50㎡
- 区画数 14区画
- 利用料金 6,500円/年間
- その他



ナス栽培区画

駐車場、物置、水道、トイレが設置されている。契約期間1年(更新可能)。

## 5 管理・運営等

管理運営主体：荒尾市

## 6 農園の特徴

- 平日農園に行けない者のために、管理人を設置している。隣接地で米とみかん栽培をしている農業者を市が管理人として雇用し、雑草除去や水やりなどを行っている。
- 荒尾市内の畜産農家で出来た堆肥が、農園利用者に無償で提供されている。



市内畜産農家の好意で提供された堆肥

## 7 イベント・交流活動等

農園利用者から、栽培のための土づくりを教えてほしいとの声があったため、荒尾市主催で講習会を開いた。開催に際しては、熊本県出先機関の職員を講師として招き、参加者を農園利用者に限らず市内から広く募集した。

講習会当日は農園利用者を上回る20人の参加があり、内容も大変好評であったため、今後も継続して開催が検討されている。



開催された講習会

## 8 施設設置効果

- 利用者は食に関心の高い主婦が多いが、市内の住宅団地に居住している世帯が家族ぐるみで利用しているケースもあり、市民農園増設を希望する声が出てきている。講習会を開催したところ参加者も多くあり、市民農園を通じて市民が農業に関心を持ちつつある。
- 市内の荒廃農地再生利用に繋がった。

## 9 今後の課題・問題点等

市民農園増設を希望する声があるが、給排水施設の経費負担等があり、市の新たな農園開設が厳しい状況となっている。

### 【問い合わせ先】

荒尾市農林水産課農政係 電話 0968-63-1443

<http://www.city.arao.lg.jp/q/aview/171/1487.html>